

びわ南小学校からの報告

活動団体名： びわ南小学校 4年生

活動人数： 29人（教員2名）

取組時間：総合的な学習の時間

調査内容 1回目：6月10日（金） 難波橋下流 100m 晴れ 2回目：7月8日（金） 高山キャンプ場 晴れ

6月10日に姉川の調査をしました。この日は親子活動として保護者の方と一緒に川の生き物調べをしました。元びわ南小学校校長の八木先生と湖北野鳥センターの植田先生に講師を依頼し、調査の前に水生生物を調査する目的や、生き物を上手につかまえるための網やざるの使い方を教えていただきました。実際に川に入ると、思っていたよりも水が冷たく、戸惑う姿も見られましたが、次第に上手につかまえられるようになりました。網やざるでつかまえた水生生物をバケツに入れ、そこからトレイに種類ごとに分類しました。

7月8日は高山キャンプ場で草野川の調査をしました。やまのこ指導員の先生方に調査方法を教えていただきました。子どもたちも慣れた様子で、大きな石をめくったり、足を使って砂利をざるに入れたりしました。一度にたくさんの水生生物を見ることができ、下流との違いを感じていました。つかまえた水生生物はバケツに入れ、キャンプ場で生き物集計シートと照らし合わせながら分類しました。指導員の方に見分けるポイントを教えていただき、自分たちの力で分類することができました。



調査員の感想

- ・毎日見ている川だけれど、こんなに水生生物がいると知らなかったの、びっくりした。
- ・初めは水生生物が怖くて触れなかったけど、活動をしていくうちに触れるようになった。
- ・姉川も高山キャンプ場もきれいな水だと分かり、これからもきれいな川を守っていききたいと思った。

捕まえた生き物たち

【難波橋下流】

ナガレトビケラ、ヒラタカゲロウ、ヒゲナガトビケラ、ニンギョウトビケラ、ガガンボ、赤いユスリカ、イトミミズ、ヤゴ、コオニヤンマ、コシボソヤンマ、カワムツ、ヨシノボリ

【高山キャンプ場】

カワゲラ、ナガレトビケラ、ヒラタカゲロウ、ヘビトンボ、ガガンボ、サワガニ、ウズムシ、オタマジャクシ

調査のまとめ

- ・難波橋下流のあたりはトビケラやガガンボなどが多く見られ、きれいな川だということが分かりました。
- ・姉川の上流にあたる草野川では、きれいな川にすむ水生生物を何種類も観察することができ、姉川の下流と同様にきれいな川だということが分かりました。
- ・姉川の水がきれいだということが分かりましたが、よごれた川の指標になっている赤いユスリカやサホコカゲロウが見られたのがなぜなのか疑問に思いました。（調査の後、植田先生に質問をしたところ、琵琶湖には有機物がたくさんあり、それが姉川に混ざっているのではないかと、有機物はよごれた川の原因になるけれど、川にすむ小さな生き物にとって大切なエサにもなり、それが生物の多様性だということを教えていただいた。）



活動の様子

【調査開始後の様子】



【何がとれたか確認する様子】



【全体で結果をまとめる様子】



【トレイを使って分類する様子】



【講師の先生に教えていただいている様子】



【講師の先生に教えていただいている様子】



【全体でのまとめ】



【つかまえた水生生物をカードに記録する】

